

したりしないこと。

・オリエンテーション、日本語学校など、留学生が集まる所で、情報交換したりするそうで、特別扱いをしない方が良いとの事です。

・留学生に対する大事な生活ルールに「4Dルール」があります。世界ロータリーの共通ルールとのこと。「ドライブ」「ドリンク」「デイト」「ドラッグ」の禁止事項。日本の高校生より考えも行動もずっと大人びていますので、「4Dルール」には特に注意を払いました。

・この時はあと2つの「D」、「デンジャラスエリア」と「ディスコ」がありました。デンジャラスエリアとは大宮の南銀エリアだそうです。人をお預かりする事業ですので、この点は帰宅門限の時間（10時）とともに、相当注意を払いました。が、我が家にいるときは大きな問題はありませんでした。

【食卓での会話…受け入れの楽しみの一つ】

ドミニーとは、ほとんど毎日、食後は会話を楽しんでおりました。故郷の話や家族の話、最年少で参加したというウガンダでのボランティア活動の話とか、もちろん学校の話、留学生同士の話、文化・歴史の話など。彼女のお母さんとも、Skypeを使い、手振り身振りですべて楽しめました。

私が晩酌でウイスキーを飲んでいるときに「日本の山崎は美味しいんだよ」と自慢したことがありました。すると彼女が「少しだけ」と言うので少し舐めさせたところ、「お父さん、日本のウイスキーは甘すぎる」と言われ、ビックリした思い出もあります。日本の食パンを自慢した時は「日本のパンは柔らかすぎる」と否定されました。

ドミニーが我が家にホームステイしていた間は、夜の帰りの心配をした程度で、楽しい2ヶ月を過ごす事ができました。

留学生 サントスに関して

伊田年度（2014-15年）に、青少年交換委員長を拝命いたしました。

留学生はブラジルのミナスジェライス州出身の17歳の男の子で、エドワード サントス君といいます。

ドミニーが世話になった大宮北高校に入学しました。



【ホストファミリー確保の苦労について】

カウンセラーは今回も木本会員にお願いしました。ホストもすぐに集まるだろうと気軽に考えておりましたが、これが全く集まりませんでした。後で理解するのですが、ホームステイ先ではほとんど奥様が留学生の面倒を見るために、外国の男の子ですと抵抗があるそうです。

特に第1ホストは、空港の出迎えに始まり、住民登録、学校訪問、学校関係の買い物など、短期間にしなければならない作業があり、とにかく第1ホストだけはなんとかせねばと悩んでいるところで、引き受けていただいたのが、現会長の福田さんです。そして第2ホストを引き受けていただいたのが中村雅之会員。このお二人には今も感謝の気持ちを忘れた事はありません。その後、第3ホストがなかなか見つかりません。私の奥様に引き受けてもらいました。第4ホストは伊田会長にお願いし、その後はもう一度、2回目のホストとして中村さんに引き受けていただきました。

今後、ホスト集めの為には留学生は女の子が必須と考えます。

【文化の違いとホストとのトラブル】

彼は非常に自己主張が強い子で、決して悪い子ではなかったのですが、日本に慣れるまではホストファミリーという問題を起こし大変に苦勞いたしました。振り返ると、懐かしい良い思い出です。

・来日してすぐ、第1ホストの福田さんの家で旦那様がカンカンに怒っていらっしゃる、ということがありました。サントスが来日前に日本に着いたらすぐに購入する品を決めていたらしく、福田さん宅に着くや否や、でかい態度で「秋葉原にすぐに案内してほしい」旨、頼みに来たそうです。旦那様には「留学生は勉強にする為に来日したのではないのか」と、もったいなお説教をこんこんといただきました。

・また第2ホストの中村さん宅では、夜中までSkypeをしながら朝起きられずに「学校に行かない」と駄々をこねた事があってらしく。流石に切れた中村さんが、窓から荷物を投げつけて「お前はブラジルに帰れ」と怒ったことがあったとのこと。それ以来「俺の言う事はよく聞くようになった」とおっしゃってました。これは昨日仕入れた情報です。

・我が家でも、いくつか家内が切れた事件がありました。我が家にホームステイしている時に、家内が一生懸命作った味噌汁が「美味しくないと」言って外食に出てしまったり、頻りに学生服を洗濯機に放り込んだり。また、学校に行きたくなくなると「お父さん足がペインペイン」と訴えるなど、とにかく世話の焼ける子でした。

ただ根っから悪い子ではなく、憎めない子でもありました。彼は、最後のオリエンテーションで、日本で学んだ事・体験した事、ホームステイ先での思い出など、日本語で5分間の感動のスピーチをしてくれ、そのことを嬉しく覚えております。

確かに青少年交換はまだ17~18歳の子どもに関わる、大変に気苦勞の多い事業です。が、来日学生が1年間で目まぐるしく成長する過程を見られ、共同生活することで文化の違いや新たな発見できます。

今、コロナ禍で事業が止まっておりますが、再開されました折には、是非、ホストファミリーを体験してみてください。